都市再生整備計画 事後評価シート

神戸電鉄市場駅 · 樫山駅周辺地区

平成23年2月

兵庫県小野市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	兵庫県		市町村名 小野市			±	也区名		神戸 電鉄市 場駅・樫山駅周辺:			.区	面積	448			
交付期間	平成18年度~22年度		事後評価	実施時期	平成22年度		Ę	交付対象事業費			371 国費率		<mark>率</mark> 0.4				
1) 事業の実施状況	当初計画に 位置づけ、	基幹事業	公園(山田の	公園(山田の里公園)、地域生活基盤施設(神戸電鉄樫山駅前広場、駐輪場、情報板、市場駅駐輪場)、高質空間施設(樫山駅前広場、ハイテクタウンアプローチ道路、市境									アプローチ道路、市境等	景観整備)			
	実施した事業	提案事業	地域創造支援事業(神鉄樫山駅駅舎等整備事業)														
		1	事業名						削除/追加の理由					削除/追加による目標、指標、数値目標への影響			
	当初計画から	基幹事業															
	削除した 事業	提案事業															
	新たに追加し	基幹事業	地域生活基盤施設(市場駅前広場)						駐輪場と一体に整備するため				目標	目標、指標に関係するが、数値目標は据え置く			
	た事業	提案事業															
	交付期間	当 初	平成1	8年度~平月			交付期間の変更による事業、		目標、指標に関係するが、数値目標は据え置く。								
	の変更	変 更	平成18年度~平成22年度			指標、数値目標への影響											
2) 都市再生整備計画 に記載した目標を 定量化する指標 の達成状況	指標			単位	従前任	直 基準年度	目標的	値 目標年度	数 モニタリング	値 評価値	目標 達成度	1年以内 達成見記		効果発現要 (総合所見		フォローアップ 予定時期	
	指標1	コミュニティオ 体利用回数	ニティホール等の団		0	H16	24	H22		24	0	あり なし	駅周i リの抄 となっ	辺施設との一体整備により、 拠点施設としての環境が整いった。	地域住民のまちづく 地域交流の拠点	平成23年4月	
	指標2	施設利用者	の満足度	%	10	H16	60	H22		90	0	あり なし	駅周:	辺施設の整備を行うことで、利性が向上し、利用者の満足度	利用者の快適性や 変が向上した。		
	指標3	工業団地周 用者の満足		%	10	H16	60	H22		83	0	あり なし		基盤整備や景観整備により。 し、利用者及び周辺住民の清			
	指標4			 				 				あり なし					
	指標5			, ! !				, ! !				あり なし					
3)その他の数値指標 (当初設定した数値 目標以外の指標)に よる効果発現状況		指 標		単位	従前	直 基準年度	目標	値 目標年度	数 モニタリング	値 評価値	目標 達成度	1年以内達成見記		効果発現要 (総合所見		フォローアップ 予定時期	
	その他の数値指標1																
	その他の 数値指標2	の他の		<u> </u>													
	その他の 数値指標3	0															
4) 定性的な効果 発現状況	WIETE IN				L					l							
5)実施過程の評価			実施内容						実施状況					今後の対応方針等			
	モニタリング		なし				都市再生	市再生整備計画に記載し、実施できた 市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 市再生整備計画に記載したが、実施できなかった									
	住民参 プロセ		都 地域づくり協議会の活動 都					都市再生图 都市再生图 都市再生图	市再生整備計画に記載し、実施できた 市再生整備計画に記載はなかったが、実施した ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・				方場地区地 進めていく。	也区地域づくり協議会が中心となり、住民参画によるまちづくりを ていく。			
	持続的なまちづくり 体制の構築		地域づくり協議会の活動充実都					都市再生物	市再生整備計画に記載し、実施できた				市場地区地 迷続する。	地区地域づくり協議会の活動をさらに充実させていくために支援を する。			

様式2-2 地区の概要

神戸電鉄市場駅・樫山駅周辺地区(兵庫県小野市) 都市再生整備計画事業の成果概要											
まちづくりの目標	目標を定量化する指	従前値		目標値		評価値					
	コミュニティホール等の団体利用回数	単位:回/年	0	H16	24	H22	24	H22			
	施設利用者の満足度	単位: %	10	H16	60	H22	90	H22			
駅周辺と市東側玄関ロの環境整備を行うことによる交通利便性の向上と周辺地域の活性化	工業団地周辺施設等利用者の満足度	単位: %	10	H16	60	H22	83	H22			
		単位:		Н		Н		Н			
		単位:		Н		Н		Н			











まちの課題の変化

樫山駅前広場、駐輪場、情報板、コミュニティホールや市場駅前広場、駐輪場の整備を実施することにより、利用者の利便性・快適性・安全性などが向上した。地域コミュニティ活動の拠点施設として活用できる場として期待される。また市境環境整備として、緑化施設の整備を実施し、自然をいかした景観づくりを推進している。工業団地へのアプローチ道路と工業団地内に歩行者用照明灯を設置して、住民の安全性・利便性が向上した。

今後のまちづくり の方策 (改善策を含む) 樫山駅周辺は一体的に整備を実施することができたため、利用者の利便性、快適性、安全性が向上した。コミュニティ施設を地域住民のコミュニティの場として利用推進を図る。市場地域に北播磨総合医療センターの建設が計画されているため、病院事業計画に併せて、この地区の整備計画の検討が必要である。今後も地域づくり協議会を中心に住民参画のまちづくりを継続して、地域の活性化を図るために都市基盤整備を推進する。